

遠隔操縦式バックホウ操作訓練を実施しました。

実施日時:平成29年12月20日(水)~21日(木)

実施場所:四国技術事務所

1. 概要

四国技術事務所では、二次災害の恐れがある危険な災害現場において、オペレータが機械本体から最大150m離れた安全な場所から無線操縦できる遠隔操縦式バックホウの操作訓練を実施しました。この訓練は、災害発生時に迅速に活動できるよう、遠隔操縦式バックホウの技術者を養成することを目的に平成18年度から行っているものです。

今年の訓練では、香川・徳島県内の事務所と災害協定等を結んでいる建設会社等のオペレータ29名が参加し、訓練修了者は延べ271名に達しました。

2. 実施状況

訓練は、四国技術事務所が保有している1.0m³級空輸対応型バックホウ(遠隔操縦式・分解組立型)と0.45m³級遠隔操縦式バックホウの2台で実施しました。

◆ 1.0m³級空輸対応型バックホウ(遠隔操縦式・分解組立型)



・照明車のカメラによる全景映像及びバックホウ装着のカメラ映像による遠隔操作訓練
(既修了者を対象に実施。バックホウ装着のカメラ3台を足下で切替ながら操作)【今回初の取組】



照明車のカメラによる全景映像



バックホウ装着のカメラ映像



目視及びバックホウ装着のカメラ映像

・目視及びバックホウ装着のカメラ映像による遠隔操作訓練

(初めての方を対象に実施。バックホウ装着のカメラ3台を足下で切替ながら操作)

◆ 0.45m³級遠隔操縦式バックホウ



自衛隊員も見学参加

・機体より少し離れた場所から目視による遠隔操作訓練
(参加者全員を対象に実施。)